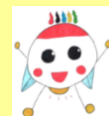




- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

個を生かす手立てを講しながら、わかる授業を目指して…

先号で、高槻小の強みと弱みにおける課題、子どもたちの自尊感情の低さをテーマに、資料を基にお伝えしました。ご家庭でお子さんとお話できましたでしょうか。具体的に「ほめる」機会や場を意識していただければ幸いです。

さて、学期末のアンケートでは、「子どもの実態に応じた授業展開や教材の工夫、支援の手立てを行った」と肯定的な回答した教職員は100%に対し、「学習した内容がきちんと理解できているか」の質問に肯定的な回答した児童は81%でした。基礎基本の力、授業における理解では、個の学力、体力の差があることは本校の課題です。課題解決のために、本校では、基礎基本の力の定着を目指す一斉朝学習の取り組み、「ことば」の力を培うための国語科授業の始まり1分の「ことのは」（新出漢字や慣用句、意味など）タイム、（5月第9号でご紹介しました）5時間目が始まる前の10分間の読書タイムを導入し、「ことば」の理解に重点を置いて「言葉の力をつけ、自分の思いや考えを形成する子ども」の育成を目指し、国語科を中核にして、学習に取り組んでいるところです。また、下記のような全体的な課題もあります。

○学習の内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている 62.5%

○授業では課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。 56.3%

これらを受け、授業では、

○学習計画を立て、掲示し学習の見通しをもたせる。（ノートを活用）

○学習の振り返りの視点をもたせる。→教師が振り返りを即時にフィードバックする

○主題研修、若年研修を得て、ほかの学級で取り組んでいるところを取り入れ、授業改善に生かそう。

を、教職員と共有し、取り組んでいます。ご家庭でも、授業参観や子どもの宿題を見て「わかっていない」「理解できていないかも」と感じられたときは、遠慮なく担任に相談してください。子どものつまずきや誤りをいち早く気づいて、確かな学力をつけていきたいと思ひます。

北九州子ども読書の日

「おはなしほたるの会」の皆様による読み聞かせー

10月の読書週間にちなみ、北九州市では、「北九州子ども読書の日」を制定しています。本校でも、10月7日（月）に4年から6年生、10月31日（木）に、1年生から3年生が、毎週水曜日に読み聞かせに来てくださっている「おはなしほたるの会」の皆様に、ブックトークやストーリーテリング、絵本の読み聞かせなどをしていただきました。ほのかなろうそくの明かりで、幻想的なお話の世界にひきこまれながら、ゆったりとした、楽しい時間を過ごせました。

また、「おはなしほたるの会」の方々は、長年の功績をたたえられ、市より表彰されました。併せてご紹介させていただきます。

『高槻ホテル』の長年の飼育について地域の池田さんが感謝状をいただきました。おめでとうございます。

ホテルが住む槻田川の清掃を地域の皆さんとともにしながら、高槻のホテルを、長年守っていただき、また、子どもたちに、ホテルの飼育を通して、自然のすばらしさ、美しさを教えていただいています。ありがとうございます。

実りの秋。稲刈り体験をしました。

毎年、恒例になっている5年生の田植え、そして稲刈り体験を、10日（木）に行いました。夏の暑い時期、台風で稲が倒れそうな時等、自分たちで水をやり、大事に育てた稲は、豊かに穂を实らせました。役所の方も来られ、稲刈りの仕方やそのあとの干し方など、丁寧にご指導くださいました。子どもたちは、田んぼに素足で、「釜の使い方が難しい」「稲の束をそろえて結ばないといけない」など、慎重に、かつ楽しそうに稲刈りを行いました。精米したのち、家庭科の調理実習で、お米を炊き、いただきます。自分たちで育てた米は、格別のおいしさでしょう。

